

展示会用LED、低コストで



メッセではデザイン自由度の高い布製材をアピールした

付加価値創造合同会社

展示会用のLED照明は、販売店が少なく、レンタル業者から借りるケースが多い。複数の照明を使えば出費も増え、中小企業にとっては負担が大きい。多和田社長は「レンタル料の安いライトでは、きれいに演出できず、十分な集客効果が得られない」と指摘する。

シェアリングサービスも検討

中小企業向けに展示会出展コンサルティングなどを手掛ける付加価値創造合同会社(本社名古屋市中区恵方町、多和田博社長、電話052・680・9099)は、展示会のブース演出用のLED(発光ダイオード)照明を照明器具メーカーと共同開発する。安価な価格設定とし需要を取り込む。販売先とのシェアリングサービスにも乗り出す計画だ。

(吉川英司)



多和田博社長

中、同社が取り次いで他社に貸し出すシェアリングサービスも検討している。「購入企業は自社で4回出展すれば元が取れる上、レ

効果的な展示法紹介21日にセミナー開催 付加価値創造合同会社は

多和田社長が、展示会に出展して大型の契約を取り付けた経験などから、出展コストを抑える工夫や、大

同社の2019年8月期の売上高は約2800万円の見込み。LED照明と布製の展示部材を拡販し、3年後に1億円の大会突破を目指す。

ンタル料も得られる」としている。11月に名古屋市内で開かれる異業種交流展示会「メッセナゴヤ2019」に出展し、LED照明をアピールする。また、昨年に続き布製の展示部材も出品する。同部材は小間全体を一枚の布で覆い、その布にキヤッチコピーや製品画像などを印刷。布一面を使った大きなデザインをプリントすることで、遠くからでも見栄えの良い展示ブースを作れる。改良を加え施工が簡単になったことを発信する。

メッセナゴヤ
11月6日～9日 2019



情報は名古屋デスクへ

TEL052(561)5212
FAX052(561)5207

WEBでのお申し込み

中部経済

検索

名古屋 部屋探し

部屋 セレブ

S-POINT
http://www.spoint.jp

パナマ帽は夏の正装



○「夏場には毎日、帽子をかぶりたい」と話すのは名古屋帽子協同組合理事長八百吉社長の林幸春さん。今夏も続くが、通勤や営業の時に帽子をかぶるビジネスパーソンは少ない。「私は出る時はいつでも帽子をかぶる。ビジネス帽子を身に付けるのは格好いいことだとしてほしい」と訴える。

○帽子はファッションの一つだが日差しや暑さ、冬の寒さから頭部を守り本来の役割だ。「夏にかぶれば、日陰効果がある。目の詰まった布製の帽子外線も99%カットできる」と実用性を示す。紳士用夏物には「通気性を重視し、マフラーがおすすめ」。

パナマ草の葉を細く編んだカシミア子で、「もともとにとって夏の正装のもの」と正しい知見対策にも活用さることを期待している。

ロジカルコミュニケーション講座

県労働協が来月11日

愛知県労働協会は9月11日

午前9時半から、名古屋市中村区名駅の名古屋労働センターで、ロジカルコミュニケーション講座を

株式会社 浦野設計

「金」は建物から。今だからこそ、環境に配慮した家づくりをご提案します。